

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぼらりすあんど		
○保護者評価実施期間	2024年10月12日		2024年11月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	70	(回答者数) 45
○従業者評価実施期間	2024年11月25日		2024年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職による支援	多職種(言語聴覚士、理学療法士、臨床心理士、保育士、教員等)が関わっていることによって、一人の利用者様に対し、様々な専門的視点からアセスメントをして、カンファレンス等を通して共有し、子どもたち一人ひとりの支援を立案・実施している。	専門職の配置だけでなく、より専門性を活かしたプログラムを実施していけるように研修等を通して専門性を高めるように努める。
2	保護者支援	保護者からの相談(家庭や学校等での困り感)に応じ、問題解決や改善に向けて取り組んでいる。 電話やLINEでの相談も受けており、ご家族に寄り添った対応に取り組んでいる。	保護者のニーズに応じていけるように関係機関との連携を緊密に図っていく。また、保護者の不安や悩みに迅速に対応するように努める。
3	子どもの発達状態に応じた個別活動と集団活動による支援	発達状況に応じた個別支援(コミュニケーション・身体の使い方・構音訓練)を行っている。集団活動では、個々のニーズに合わせて運動遊びやゲーム、創作活動などを通して、ルールやコミュニケーションスキルの習得に積極的に取り組んでいる。	子ども一人ひとりに応じた支援方法について職員間で情報共有するとともに、研修等を通して更なる支援技術の向上に取り組む。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域社会へひらかれた事業所運営	個人情報が入ることへの不安があり、保護者様からのニーズが確認できていない。	事業所での取り組みや子どもたちの様子を地域や子どもたちを取り巻く環境へ伝えて、子どもたちが理解される環境を作れるように発信できる方法を模索していく。
2	非常時等の対応についての周知	各マニュアルは策定しているが、保護者への説明、周知の方法においては改善が必要である。また、訓練についても、全利用者が参加できていない。	マニュアルについては、わかりやすい場所に掲示・設置をし、周知をする。また、訓練についてもできるだけ多くのご利用者様が参加できるように設定していく。契約時に避難経路等を渡すなど災害時にスムーズに対応できるようにしていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ぼらりすあんど

公表日 2025年1月22日

利用児童数 70

回収数 45

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	45				広い部屋でたくさん体を動かすスペース がありありがたいです。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	44	1				
	3 療育空間は、子どもに何をすべき場所かわかりやすい環境設定になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	44			1		
	4 療育空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	45					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	44	1			子供に合わせて声かけをしていただいで るので、子供自身も素直に受け入れ行動 できるように感じます。	
	6 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていると思いますか。	43			2		
	7 個別支援計画には、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	40			5		
	8 個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	40			5		
	9 事業所の活動内容が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	39	3		3		
保 護 者 へ の 説 明 等	10 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	45					
	11 「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	43			2	いつも丁寧に分かりやすく説明して貰っ てます。	
	12 保護者が子どもの行動や特性を理解したり、子どもへの関わり方・対応について学ぶ機会が設けられていると思いますか。	42	1		2		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	41	1		3		
	14 定期的に保護者に対して、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	42	1		2		
	15 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	43			2		
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対して、そのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	42			3	5週目は曜日を変更して対応して頂く事で子 供が週1回のルーティーンを崩す事がないの で助かってます。 保護者の悩みや相談に丁寧に耳を傾けてく れて助かってます。	
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	44			1		
	18 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26	5		14		
19 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	44			1			
非 常 時 等 の 対 応	20 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	2		14		
	21 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17		4	24		
	22 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	40	1		4		
	23 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	34	3		8	ケガ等ないように見守って頂いてます。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満 足 度	24	子どもは安心感をもって通所していますか。	45					
	25	子どもは通所を楽しみにしていますか。	45					
	26	事業所の支援に満足していますか。	45					

ご自由にお書きください（ご意見・ご要望など）

- ・なかなか発語につながらないが、本人は楽しく通所しており意思や要求は言葉がないなりに他者に伝える姿勢はみられるようになってきました。
- ・ぼろりすあんどさんに通いはじめてから本当によく成長がみられます。いつも楽しみに通えている事が成長にもつながっている事が子供にも伝わっていると感じます。いつもありがとうございます。今後も宜しくお願いします。
- ・子供は毎週の通所を楽しみにしています。私も園や事業所での様子を教えて頂けるので子供の成長を感じる事ができ満足しています。子供の相談の際も話しやすい環境でお話できて助かってます。
- ・子供の発達に合わせて個性を大切に頑張って頂いており安心して通っています。
- ・いつも楽しく通わせて頂いています。これからも宜しくお願いします。
- ・毎週ぼろりすあんどさんに来る日を「あと何日?」ととても楽しみにしているようです。これからもどうぞ宜しくお願い致します。
- ・子供が通うのを楽しみにしています。療育の間に親も色々子供への対応や困り事など相談をさせて頂けるので感謝しています。
- ・子供に寄りそった支援をして頂いたり、お話を聞いて頂いたり、大変助かっております。子供の姿が日々少しずつ変わるので丁寧に1対1で関わって頂けるのは大変ありがたいです。また出来事に対する対応の仕方も一緒に考えていただけありがたいです。こんごとも宜しくお願いします。
- ・楽しんで行っているので安心して通所できます。いつもありがとうございます。
- ・いつも楽しく通わせて頂いています。私達親の子育ての相談にもとても親身になって下さり心強かんじています。
- ・毎週ぼろりすあんどに行く事を子供は楽しみにしています。
- ・職員の方々にはとても親切に対応して頂いています。子供や本人も近くの道を通ると「今日もぼろりすさん行こうか?」など発言しとっても楽しみにしている様子が見られます。
- ・子供の成長に合わせて、提案して下さって、段階的に内容を変えて下さったりして、目標設定をして下さっています。その中でも毎回楽しみながら通わせて頂いています。
- ・毎回ぼろりすあんどに来る事を楽しみにしており、私(母)以外と来た時も「今日は～したよ」「帰る時ちょっと怒ったけど…」等色々話をしてくれ楽しかった事を教えてくれます。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ぼらりすあんど	公表日 2025年1月22日
------	---------	-------------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	10	1	相談室を別室に配置し支援室を広く使用できるように努めている。	
	2	11		職員の配置が適切になるように日々調整管理を行っている。	
	3	9	2	玄関に段差はあるが、必要に応じて対応する。個々に合わせた環境設定を心がけている。	
	4	10	1	感染症予防のため、施設内・玩具・遊具の消毒をケースごとに行っている。 活動によって、遊具や設備を移動して工夫している。	
	5	10	1	複数に療育室、相談室を必要に応じて使用できるようにしている。	
業務改善	6	11		日々行う連絡会議やカンファレンス等で確認し、職員間で共有している。	
	7	10	1	保護者向けアンケートを実施。結果を保護者へ返し、業務内容の改善に向けて職員間で検討している。	
	8	10	1	日々行う連絡会議やカンファレンス、年1回の職員への聞き取り等で確認し、職員会議の議題にして検討している。	
	9		11		運営については、第三者に意見を求めて業務改善につなげているが、外部評価という形をとっていない。
	10	10	1	内部研修の機会を確保している。外部研修やカンファレンスにも積極的に参加している。出席できない非常勤職員にも内容を伝達したり、個別に研修を行ったりしている。	
適切な支援の提供	11		11		現在作成中で、近日中に公表予定である。
	12	10	1	活動における様子や保護者様からの聞き取り、発達検査の結果を反映して計画を立てている。職員会議でそれぞれの専門職からの意見、情報交換を行っている。また、保護者面接の時に子どもの家庭や園での様子を聞いて、計画に反映するようにしている。	
	13	11		職員会議で、子どもについての情報交換を行った上で、それぞれの専門職からの意見をもとに検討している。	
	14	11		支援計画に沿った利用ごとの目標を設定し、職員会議を通して共有している。また、その提供記録やカンファレンスを通して、達成目標の評価を行っている。	
	15	10	1	契約時にアセスメントシートを用い、保護者様より情報を得ている。また、日々の保護者様との面接において、確認している。	
	16	10	1	ガイドラインの示す支援内容と保護者面接及び、利用者様の行動分析や特性をもとに、利用者様に必要な支援目標を設定して、支援計画を具体的に説明するようにしている。	
	17	11		個別活動では、それぞれの専門職の意見も踏まえながら内容を決めている。グループ活動では、事前の打ち合わせを行い、意見を出し合いながら内容を決めている。グループ活動後には振りかえりも実施している。	
	18	10	1	利用者様の課題に応じて（家庭や園における課題・将来の自立に向けた課題等）、その都度、設定している。個々に合った内容であるか、固定化していないかを常に職員会議で話し合っている。	
	19	11		家庭や集団（保育所等）で状況を保護者様や所属機関等から聞き取り、利用者様の課題に応じて、個別活動と集団活動に対応できるようにしている。	
	20	9	2	課題や目標について共有し、分からないことや疑問がある場合にはその都度、話し合い、共通認識を持つようにしている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	2	職員間や責任者と指導内容、子どもの様子等を話し合い、共有して次の活動に繋げるようにしている。適時、職員会議で検討したり、カンファレンスを行ったりしている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11		担当している子どもについて、職員間で助言を行い合いながら毎回、記録している。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11		保護者様から状態や必要な支援について情報を得て、必要に応じて計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11		要請がある時には児童発達支援管理責任者が参加している。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	2	必要に応じて保健センターや子ども家庭支援課、通園（所）している園、医療機関等と連携して対応している。	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	1	入園・転園に際しての支援を行っている。必要に応じて、保護者の了承を得て、情報共有や引継ぎ会に参加して、相互理解を行っている。	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11		必要に応じて、就学における支援会議等に参加している。	
	28 (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31 (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	11		必要に応じて、情報共有をしたり、助言を受けたりしている。	
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		11		事業所内での個別支援を中心としている。グループ活動においては、利用者様同士の交流を基本としている。現在のところはそういった活動はしていない。
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11		定期的に保護者面接を行っている（月1～3回）。その際に家庭や園の様子、子どもの発達状況や課題を共有している。	
34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11		ペアレント・トレーニングや研修会としての場は設けていないが、定期的な保護者面接の中で、家庭での子どもへの関わり方や環境設定の方法、子どもへの伝え方等を提案したり、その後の振り返りを行う中で別方法の提案等を行っている。		
保護者への説明等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11		運営規定等については、契約時に説明をしている。支援の内容や利用者負担等については、毎月、知らせしている。	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11		定期的に保護者面接を行っており（月1～3回）、その際に家庭や園の様子、子どもの発達状況や課題・意向を確認している。	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11		その都度、説明や確認を行っている。	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11		定期的に保護者面接を行っている（月1～3回）。保護者から相談がある際には、その都度、面接や電話で対応している。	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		11	家族間の関係性もあるため（それぞれの家族によって認識も違うため）、開催、実施は行っていない。	
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11		その都度、迅速に対応している。保護者には、契約時に説明し、対応には児童発達支援管理責任者が担当することを周知している。	
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11		必要に応じて、保護者向けのお知らせを掲示したり、公式LINEアカウントで配信したりする等、連絡事項の周知を図っている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11		記録類は施錠できるロッカーに保管している。	
	43 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11		保護者様に子どもの行動の意味を伝えたり、子どもの発達状況を確認したりしながら、子どもの理解に繋がるように保護者面接を行っている。	
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		11		
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11		各マニュアルを策定し、周知している。様々な状況を想定しながら訓練を行っている。	
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11		BCPを策定し、様々な状況を想定しながら訓練を行っている。	利用頻度や支援形態により、全ての利用者様に訓練に参加して頂くことが難しい。
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	1	契約時にアセスメントシートを用い、家族より情報を得ている。	
	48 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	/		食べ物の提供は行っていない。	
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練を定期的に行っている。	
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	5		全ての保護者様への周知には至っていないので、周知できるように努める。
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11		その都度、気になることは口頭、会議で共有し、事例集を作成している。	
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11		職員には研修を行い周知している。保護者には契約時に周知している。	
53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11		契約時に説明している。		